

# 「四日市港戦略計画 2019～2022」(案)の概要について

## 1 四日市港戦略計画の位置づけ

「四日市港戦略計画 2019～2022」(以下「次期計画」という。)は、四日市港長期構想(平成21年8月策定。概ね20年後を想定。)及び四日市港港湾計画(平成23年4月改訂。平成30年代前半が目標年次。)で示した方向性を実現していくための実施計画と位置づけます。

## 2 計画期間

4年間(2019年度～2022年度)とします。

## 3 次期計画における政策体系と各政策の取組方向

### (1) 次期計画における政策体系

「物流を支援する港づくり」、「人流を創出する港づくり」、「地域を守る港づくり」の3つの政策を柱としています。

### (2) 各政策の取組方向

#### ① 物流を支援する港づくり

コンテナ貨物のさらなる集荷拡大、霞ヶ浦地区南ふ頭における混雑解消が必要となっています。このため、船会社や荷主企業へのインセンティブ制度等を活用したポートセールスの実施、霞ヶ浦地区南ふ頭の混雑解消やコンテナターミナルの効率化につながる霞ヶ浦地区北ふ頭の整備検討等、企業ニーズに対して柔軟に対応していくことで、背後圏産業を物流面から支えていきます。

#### ② 人流を創出する港づくり

近年のクルーズ需要の高まりを契機として、港を県民・市民の皆様にとってより親しみのある空間として活用するため、交流拠点としての魅力の向上を図ることが必要となっています。このため、市街地に近い四日市地区を四日市港の交流空間の中心として、イベントの実施や千歳運河緑地の整備を進めるとともに、客船等を受け入れます。また、霞ヶ浦地区においても、ポートビルを拠点として新たな交流機会の創出に取り組むとともに、四日市地区で受け入れられない大型の外国客船等を受け入れます。これらの取組により、親しまれる港づくりを進めていきます。

#### ③ 地域を守る港づくり

防災面では、平成の大災害を教訓とした防災・減災対策が必要となっています。このため、大規模災害に備えた防災訓練の実施や海岸保全施設の耐震対策を進め、地域の安全・安心を守ります。また、環境面では、世界規模で進む環境の取組への対応が必要となっています。このため、港湾関係者等と連携して温室効果ガス削減に向けて取り組むほか、省エネ・創エネ等の取組により、環境保全を進めていきます。